

6月、対面授業スタート オンラインも併用

4月からJETはオンライン授業を続けていましたが、緊急事態宣言の解除を受け、6月1日から対面授業を段階的に再開することができました。校内に活気が戻りました。

進学科 29 名が先行スタート

進学科の29名は4月1日にクラス分けテストを実施、翌2日から2クラスに分かれて対面授業がスタートしました。

しかし、7日に緊急事態宣言が出されたことから、9日に急遽オンライン授業に切り替えました。最初は日本語の授業を1日4コマと、課題提出型の「漢字」を週1コマだけ実施しました。

5月7日からは、オンラインでの授業時数を拡充し、全日制で数学や理科の授業も開始しました。

6月1日からは、4クラス(1クラス10人以下)に分かれて、オンラインも併用しつつ、対面授業にもどりました。

基礎科 46 名は海外からのオンラインも

基礎科は、4月8日にクラス分けテストをおこないました。国内の31名と海外の15名、計46名が4クラスに分かれ、16日からオンライン形式で授業がスタートしました。最初は1日2コマと、漢字(課題提出型)を週1コマで、学生と教師が授業の進め方に慣れてゆきました。

5月11日からはオンライン授業時数を1日5コマに増やし、全日制の本来のカリキュラムに近づけました。

そして6月15日からは、進学科に続いて基礎科も対面授業に移行しました。海外や国内の自宅でも受講できるように、授業のライブ配信も始めました。

授業は午前の4コマだけにしたため、今学期は夏休みを1週間に短縮して必要授業時数を確保する予定です。

入国できた新入生は5名

4月に入学を予定していた留学生は46名でした。しかし、3月下旬に入国制限がかかり、多くの学生が入国できなくなりました。新入生として無事入学できた留学生はわずか6名(うち1名は既に留学生として在留)だけ。8割近くの約30名は、入学時期を10月以降に延期することになりました。(海外からオンライン授業に参加している学生もいます。)

対面授業 6 月再開にあたってのポリシー

以下の基本方針をもとに、私たちは、学生と教職員の安全を最優先としつつ、全日制でおこなう質の高い日本語教育を提供する責任を果たしてゆきたいと考えています。

1. 1クラス10人以下

10人以上のクラスは二つに分け、クラス定員を10人としました。6月からのクラス編成は進学科4クラス、基礎科4クラス、合計8クラスとなります。海外での受講者を除くと、各クラスは5~9人です。

2. 分散登校および時間差登校

対面授業に戻す時期を、進学科と基礎科でずらししました。また、ラッシュを避けるため、10時からの始業としました。さらに、進学科はクラスや曜日によって始業時間をずらします。

3. 短縮授業

1コマを45分、昼休みを40分とし、教室にいる時間をできるだけ短縮します。放課後の自習室は設けません。

4. オンライン授業の併用

一部の授業(週に2~7コマ)はオンライン授業とします。また課題提出のみの授業も行います。

5. その他の配慮

体調不良や、電車や駅の混雑のためにやむなく遅刻・欠席をする場合は、課題の提出等をもって出席扱いとするなど、柔軟な対応をします。

校内では学生も教師もマスクを着用することを義務付け、授業中にはフェイスシールドも使います。机やドアノブ等を一日に数回除菌消毒するなど、新しい学校生活のルールを定め、校内での感染防止に努めてゆきます。



4月におこなっていたオンライン授業の様子。得猪先生の授業を、山口先生らがPCを操作してサポートしています。

12月の日本語能力試験(JLPT)結果

N1に18人合格、今年度計27人 通算合格率66%

昨年12月1日に実施された2019年度第2回日本語能力試験(JLPT)の結果、N1では校内29人中18人が合格しました。合格率は62.1%でした。

昨年7月実施のN1合格者9人と合わせて、2019年度は27人のN1合格者が生まれました。通算合格率は65.9%でした。今回のN1の校内平均は114.8点でした。(前年は100.4点)

N1トップは、Goh Jun Xianさんの174点でした。Gohさんは7月のN1ですでに合格していましたが、5か月で54点も得点を伸ばしました。

N1分野別で満点6人

N1の「読解」の分野では、黄玟嵐さん、Vivattanasan Pirayaさん(Aクラス・タイ)、黄晨瑄さん(Cクラス・台湾)の3人が60点満点でした。また「聴解」の分野では、Goh Jun Xianさん、黄皓雪さん、Tiffany Carissaさんの3人が、それぞれ60点満点でした。

非漢字圏のN1合格率78%

インドネシア、マレーシア、タイ、オーストラリア、フィリピンなど非漢字圏の学生は、今回9人がN1にチャレンジしました。そのうち7人が合格しました。

N2は今年度64人合格 通算合格率78%

N2では42人中30人が合格しました。合格率は71.4%でした。昨年7月のN2合格者34人と合わせて、2019年度は64人のN1合格者が生まれました。通算合格率は78.0%でした。今回のN2の校内平均は102.9点でした。

N2トップは、尹暎暎さんの158点でした。昨年4月に初級クラスに入学し、8か月の学習でN2初挑戦。見事な合格でした。N2の合格者30人のうち13人は、尹さんのように4月に初級クラスから学習を始めた学生でした。

N2分野別で満点2人

「言語知識」の分野ではLee Chee Hongさんが60点満点でした。また「聴解」の分野では尹暎暎さんが60点満点でした。

非漢字圏のN2合格率75%

N2受験者には非漢字圏(韓国、インドネシア、マレーシア、タイ、モロッコ)からの学習者が20人いましたが、そのうち15人が合格しました。

N3は9人が受験し6人が合格。N4は6人が受験し2人が合格、N5は2人が受験し1人が合格しました。

N1 校内ベスト5 (180点満点)

順位	クラス	氏名	出身	総合点
1	A	Goh Jun Xian	Malaysia	174
2	A	黄皓雪	Macau	164
3	A	黄玟嵐	台湾	161
4	A	Tiffany Carissa	Indonesia	159
5	A	Mellisa Ardelia	Indonesia	154

N2 校内ベスト5 (180点満点)

順位	クラス	氏名	出身	総合点
1	E	尹暎暎	韓国	158
2	D	Chee Jia Hui	Malaysia	157
3	D	Lee Chee Hong	Malaysia	154
4	E	黄毓甯	台湾	147
5	B	Nurul Hafizah Binti Hassan	Malaysia	144

(日本語能力試験の合格ラインは、いずれの級も180点満点中、N1が100点、N2が90点、N3が95点、N4が90点、N5は80点です。)

2020年度の奨学生 一部決定

今年度、文部科学省から給付される学習奨励費生には、基礎科から黄宇勝さん(台湾)が選ばれました。高山国際教育財団の奨学生にはLee Chee Hongさん(マレーシア)が選考され決定しました。千本財団の奨学生には校内で2名が選考され、財団に推薦されました。

後援会会費納入のお願い

JET 日本語学校後援会は奨学金・学習奨励金の給付等、本校で学ぶ学生達を支援しています。校内スピーチ大会での賞品の一部や遠足の補助金は、後援会からの支出によるものです。

今年6月には、学生用のフェイスシールドや消毒用のアルコール等の購入にも支出させていただきました。

2019年度は13名の方から112,000円のご支援をいただきました。本校の教育事業にご賛同いただける方は、会費を納入していただければ幸いです。

年会費:3000円 賛助会費(一口):2000円

郵便為替口座:00140-1-101927 JET 日本語学校後援会

★ ★ ★

海外からのお振込みの場合は、手数料のかからない決済代行サービス flywire をご利用いただけます。

<https://www.flywire.com/pay/jet-academy/>

第三者評価で高い評価

2月、日本語教育振興協会による第三者評価(教育活動評価)を受審しました。「全日制の体制で、進学あるいは就職するという、しっかりした目的を持った学生を入学させ、自主性を持ち、自ら努力する学生を育てることを目標に置き、きめ細かな教育活動に努めている。」との評価をいただきました。また、「落ち着いた学習環境」、「活気のある明るい雰囲気」という感想も、所見に書かれていました。

祝 合 格

(3月31日現在)

【大学院】

李澄雅(台湾) 国立新潟大学大学院 現代社会文化研究科 博士前期課程
 Tan Mey Mey(マレーシア) 北海道大学大学院 保健科学研究院 研究生
 蔡伊庭(台湾) 国際教養大学専門職大学院 グローバル・コミュニケーション実践研究科
 Vivattanasan Piraya(タイ) 青山学院大学大学院 国際マネジメント研究科 専門職学位課程(MBA)
 陳孟汝(台湾) 拓殖大学大学院 商学研究科 博士前期課程
 廖悦廷(台湾) 日本大学大学院 商学研究科 博士前期課程
 陳孟汝(台湾) 立教大学大学院 ビジネスデザイン研究科 博士前期課程
 胡邵博(台湾) 立命館大学大学院 理工学研究科 博士前期課程

【大学】

黄皓雪(マカオ) 国立室蘭工業大学 理工学部
 黄玟嵐(台湾) 大阪市立大学 文学部
 黄玟嵐(台湾) 青山学院大学 総合文化政策学部
 Richard Winata(インドネシア) 足利大学 工学部
 黄玟嵐(台湾) 国際基督教大学 教養学部
 Nurul Hafizah Binti Hassan(マレーシア) 国際ファッション専門職大学 国際ファッション学部
 李浚璋(台湾) 拓殖大学 商学部
 Kreszens Hidayat(インドネシア) 東海大学 工学部
 呂長澄(台湾) 東海大学 文化社会学部
 Stanley Jusuf(インドネシア) 東京工科大学 コンピュータサイエンス学部
 Kreszens Hidayat(インドネシア) 東京電機大学 未来科学部
 Tiffany Carissa(インドネシア) 東京都市大学 情報工学部
 Alfonsus Wintang Abhikama(インドネシア) 東京都市大学 環境学部
 Mellisa Ardelia(インドネシア) 東京理科大学 理学部第一部
 Asa Satyagraha(インドネシア) 東京理科大学 理学部第一部
 黄皓雪(マカオ) 日本大学 理工学部
 Goh Jun Xian(マレーシア) 日本大学 理工学部
 呂長澄(台湾) 日本大学 法学部
 Deborah Grace(インドネシア) 文化学園大学 造形学部
 Nurul Hafizah Binti Hassan(マレーシア) 文化学園大学 服装学部
 林恒璋(台湾) 武蔵野美術大学 造形構想学部
 Stanley Jusuf(インドネシア) 立命館大学 情報理工学部

【専門学校】

Su Leo Yixing(オーストリア) 尚美ミュージックカレッジ専門学校 アレンジ・作曲学科
 楊惟中(台湾) 専門学校東京ビジュアルアーツ 写真学科
 Ip Adrian(オーストラリア) 専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京 ミュージックアーティスト科
 方少麟(香港) 専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京 ミュージックアーティスト科
 陳旭東(台湾) 中央工学校 3D-CAD科
 徐子媛(台湾) 東京アニメーションカレッジ専門学校 アニメーション学科
 彭浩哲(台湾) 東京グローバルビジネス専門学校 商業実務専門課程
 梁鈞璋(台湾) 東京スクールオブ・ビジネス 経営学科

游定儒(台湾) 東京スクールオブ・ビジネス 経営学科
 游茹婷(台湾) 東京製菓学校 第一部製菓専門課程
 陳致樺(台湾) 東京デザイナー学院 プロダクトデザイン学科
 陳怡君(台湾) 東京デザイン専門学校 グラフィックデザイン科
 許智嵐(台湾) 東京モード学園 グラフィック学科
 巫銘皓(台湾) 日本菓子専門学校 製菓技術学科
 邱依雪(台湾) 日本菓子専門学校 製菓技術学科
 Lau Yee Lam(カナダ) 日本デザイナー学院 総合イラストレーション科
 Kooy Wei Keat(マレーシア) 専門学校 HAL 東京 ゲーム学科
 Daniel Fayrouz(モロッコ) 文化外国語専門学校 日本語通訳ビジネス科
 陳奕安(台湾) ホンダテクニカルカレッジ関東 自動車整備科
 施俊安(台湾) 山手調理製菓専門学校 製菓総合本科
 Francis Nicolas Tjan(インドネシア) 横浜システム工学院専門学校 AI サービス活用科

卒業式 66名に修了証書

4名に皆勤賞

3月6日、卒業式が行われ、進学科23名、基礎科43名に修了証書が授与されました。卒業生を代表してAクラスの黄皓雪さん(マカオ・右写真)が挨拶をしました。理事長と校長の祝辞を短くし、蛍の光の斉唱を省略するなど、時間を大幅に短縮しました。



卒業式では皆勤賞の表彰も行われました。胡邵博さん(台湾)、Asa Satyagrahaさん(インドネシア)、Alfonsus Wintang Abhikamaさん(インドネシア)、張小芸さん(台湾)の4人が1年半にわたって皆勤でした。後援会から図書カードが贈られました。



座席の間隔を広く取ったため、学生数が増えたように見えます。400㎡の会場を、約150名で使用しました。

9名が就職セミナー受講

初のオンライン

今学期も JET 卒業後に日本での就職を希望する学生を対象に就職セミナーを行い、中級クラスの学生9名が参加しました。今回はコロナの影響で、初めて ZOOM でのオンライン就職セミナーとなりました。

まずは、5月13日に日本の企業や就職セミナーについてのガイダンスを行いました。

その後、留学生の就職活動を支援している(株)Asia Link の方を講師にお招きし、5月18日に「業界分析・自己分析」、5月25日に「自己PR・履歴書の書き方」、6月1日に「模擬面接」を行いました。

全てオンラインでのセミナーでしたが、対面時のセミナーと変わらない内容になるように、パワーポイントで資料を共有し、確認しながら丁寧に進めていただきました。学生は予習や課題を毎回与えられ、集中力を切らさずに積極的に取り組みました。

就職希望の学生にとっては厳しい状況になってしまいましたが、参加した学生は「今は就職できなくても自分の日本語を高める必要があること強く感じ、よりいっそう日本語の勉強を頑張る」と前を向いていました。このセミナーで気付いたことを活かして、チャンスが来た時には迷わずつかんでほしいと思います。

(石津慎也)

先輩を招いて進学座談会

今年の進学座談会は、外出自粛がかかるGWの真っ最中、史上初の「オンライン座談会」となりました。5月6日は理系と文系に分かれて学部座談会、5月7日は大学院の座談会でした。人数の多い文系の座談会では、zoomのブレイクアウトの機能を活用して小グループに分かれて話し合いました。卒業生の皆さんは、自身の体験を熱く語り、「継続は力なり」と、困難な年に受験を迎える後輩たちにエールを送ってくれました。進学科の学生たちも、先輩たちの話を聞き逃すまいとしっかりメモを取っていた様子が画面を通して見られました。また座談会後に課題として提出されたレポートの中には、聞き取った内容が丁寧に書かれていたばかりか、もっと聞きたかったと新しい質問を投げる学生も複数見られ、収穫の多い新しい時代を感じる座談会となりました。不自由な中での受験勉強ですが、今後の学生たちの頑張りに大いに期待したいです。

参加してくれた卒業生は以下の10人。Asa Satyagraha 君(東京理科大1年・インドネシア)、Mellisa Ardelia さん(東京理科大1年・インドネシア)、黄皓雪さん(日本大1年・マカオ)、Goh Jun Xian 君(日本大1年・マレーシア)、黄玟嵐さん(国際基督教大1年・台湾)、呂長澄さん(日本大1年・台湾)、Chung Sim Yee さん(明治大2年・マレーシア)、陳孟汝さん(立教大学大学院1年・台湾)、李澄雅さん(国立新潟大学大学院1年・台湾)、Vivattanasan Piraya さん(青山学院大学大学院1年・タイ)

(木村晴美)

学 校 日 誌

- 1月4日～9日 北海道ホームステイ(北海道国際交流センター主催)
- 1月15日・16日・22日 防災訓練(北区防災センター)
- 1月18日 横浜でのスピーチ大会(ITC 横浜クラブ主催)に、王嘉瑩さん(香港)参加
- 1月18日・19日 北マルシェ「アジアのお正月」(赤羽公園)
- 1月20日・27日 校内で進路説明会
- 1月24日・29日 東京アニメーションカレッジでアフレコ体験
- 1月25日～29日 国際青少年交流協会主催のスキー&スノーボ旅行(6面に参加した学生の感想文)
- 2月3日 本校にて節分の豆まき
- 2月9日 両国国技館で日本大相撲トーナメント(フジテレビジョン主催)
- 2月10日 進学ガイダンス(2020年度進学科に入る学生の個人面接)
- 2月17日 大学生との交流授業(早稲田大、拓殖大から6名を招き、3クラスで実施)
- 2月17日 東洋大学の落語研究会の学生を招き、落語体験
- 2月17日～20日 期末試験
- 2月21日 得猪先生による茶道体験
- 3月5日 本校にて落語発表会
- 3月6日 修了式
- 3月9日～27日 日本語特別授業および補講(日本語、数学、理科)

台湾の人気ユーチューバーが JET を紹介



台湾で人気のユーチューバーBob さん(写真右)が、JET に一日体験入学した動画が、You Tube で見られます。JET のFace Book から見ることもできます。

授業の雰囲気や寮の生活を、楽しくレポートしています。Bob さんが学生と中国語を使っておしゃべりしていると、「校内は日本語で!」と校長先生に注意されるというシーンもあります。再生回数は26,000回を超えています。



ボランティアに「やさしい日本語」の教え方

1月26日、「ゆがわら国際交流協会」から、ボランティア日本語教師向けの講演依頼がありました。今年で2回目となります。講演では、「やさしい日本語」とはどんなものか、外国人に日本語を教えるにはどんなドリルが有効か、またどんな教材があるかなど、実践的なことを中心にお話しました。約2時間、みなさんメモを取りながら熱心に聞いてくださいました。

この協会には、いつも夏のホームステイプログラムでお世話になっています。恩返しをしたいと思い赴きましたが、お昼ご飯をご馳走になるなど、湯河原の方々のいつもの温かい人情に触れ、感動して帰ってきました。(山口閑子)

【4月から新任の先生挨拶】

たけかわ まい
竹川 舞 先生

コロナ禍と呼ばれる日々の中、初めての出会いはオンライン授業で始まりました。夢を抱く学生たちの熱意と柔軟さを前に励まされている毎日です。教員ではありますが、私もJET1年生として、これから学びを深めていこうと決めています。



こうの まあや
郷野 真彩 先生

3月に学習院大学文学部日本語日本文学科を卒業しました。この状況下、日本語教師としても社会人としても一年目の私には、正直不安な気持ちがありました。学生の皆さんが強い意志を持って学ぶ姿にとっても刺激を受けました。対面授業が再開し、皆さんと会って一緒に学ぶことの喜びをひしひしと感じています。皆さんの夢を叶えるために、ここで一緒に頑張りましょう！



大学生とのオンライン交流

5月29日、大学生の交流団体 NEIGHBOR が、JET のために ZOOM でのオンライン交流会を企画してくださいました。参加したのは大学生6人とJETの7人。7人のうち3人は、海外(タイ、インドネシア)からの参加でした。夕方5時頃から約2時間、日本の文化や習慣、留学生の母国のことなどについてフリートークを楽しみました。



地元の小学生とオンライン交流

5月25日、地元の小学生たちと ZOOM でオンライン交流会をしました。

参加者は全体で約20人。JETからは4人が参加し、2人がビデオメッセージを投稿しました。JETの学生が自国の挨拶や食べ物を紹介したところ、地元の子供たちは大喜び。最後は皆でしりとりをしました。「ま」の時に子どもが「マレーシア」と言うと、JETの学生から拍手喝采！交流会後には、子どもたちから「地球儀を買いたい！」とのコメントも。年齢、国籍、場所を飛び越えたオンライン交流会は成功に終わりました。

(石津慎也)

木村先生、4月から主任教諭に

生活指導主任を務めてきた木村晴美先生が、進学指導の責任者として、4月、主任教諭に就任しました。

台湾大使館などから留学生にマスク届く

4月13日、台湾大使館の黄冠超教育部長がマスクを持って来校されました。「台湾の学生がお世話になっています。これを学生に配ってください。台湾の華僑さんからの寄付です。」と、いち早く母国大使館から応援の手がさしのべられました。

その後も次々にマスクが届きます。ホームステイプログラムで約30年お世話になっている静岡県焼津市の松永裕代様からは「ステイホームで気もふさいでいた時、元留学生たちから母の日に挨拶が来たんですよ。あら、わたし何やってるのかしら、そうだ、なにかしようって思いましたね。」

その他、卒業生の陳躬清さん(中国・1991卒)、マレーシア元留学生協会(JAGAM)、留学生宿舎で長年お世話になっている崔仁煥さん(M&Eインターナショナル)からも。

試練の中、ご支援心強く、力づけられています。感謝申し上げます。(得猪節子)



台湾大使館(台北経済文化代表処)の黄冠超教育部長(左)↑

コロナ禍のなかでの日本留学生活

「みんな髪が乱れて・・・」

Leong Sze Chen (Bクラス・マレーシア)

二か月前、コロナウイルス感染を防ぐために安倍首相が緊急事態宣言を発令し、JETのオンライン授業が始まりました。翌日、初日のオンライン授業が始まる前、私の心はドキドキしていました。今まで経験したことがない授業のやり方だったからです。時間になると、画面上にクラスメイトが次々に参加してきました。私の予想通り、みんな髪が乱れていました。顔半分しか映っていない人もいて、とても面白かったです。授業では、先生も一生懸命に様々な課題を準備していて、学生の不安を消してくれました。

「やりたいと思っていたこと」

張雅婷 (Bクラス・台湾)

私たちが自粛生活をして、オンライン授業を受けるようになり、家にいる時間が大幅に増えたことで、今までやりたいと思っていたことをついにやることができました。例えば、運動したり、部屋を整理したり、観たかった映画を観たりしました。コロナの影響は悪いことばかりではなく、いいこともありました。自粛生活は大変だけれど、いい経験になりました。このような機会はおそらくもう無いでしょう。この経験は私の人生の中で一つの思い出になると思います。



日本舞踊体験

1月31日、2月7日、2月21日の3回にわたって板橋区国際交流財団主催の日本舞踊講座が行われました。踊りを披露する舞台は、2月21日の日本語スピーチ大会の幕間の時間です。JETからはIクラスの楊心好さん(台湾)が参加。しかし、コロナの影響によりスピーチ大会が中止となってしまいました。後日、踊りの練習風景の動画が担当の方から送られてきました。楊さんの「さくら踊り」、見事に花を咲かせていました。

アフレコ体験

日本事情「アフレコ」(担当・角南先生)の最後の授業で東京アニメーションカレッジの体験授業に参加させていただきました。1月24日に17名、29日に20名の学生が参加し、声優指導の先生に本物のアフレコの方法を教えてください、全員が挑戦しました。頭と口をフル回転させた2時間でした。この専門学校には現在3名のJET卒業生もいて、みんな元気に挨拶にきてくれました。

お茶体験

2月21日、校内で茶道体験をおこないました。二部制にして32名の学生が参加しました。楽しみは早春を目で感じ、味わう主菓子。(金沢「森八」製)畳の代わりに机、釜の代わりに電気

ポットですが、教室は清浄な空間になります。授業が終わったEPA研修生(介護福祉士候補生)10名も参加してお抹茶とお菓子で一服しました。

落語体験

日本事情の授業で、「落語」に挑戦しました！全5回の日程(1月6日～3月5日)です。3回目(2月17日)の授業には、東洋大学の落研サークルに所属している卒業生のアイザック君(マレーシア)と同サークルの日本人学生2名を講師に招き、目の前で見事な落語を披露していただきました。

最終回は校内で「JET寄席」を行いました。まさか自分が発表するなんて！と思った学生もたくさんいたようですが、自分で芸名を考え、和の装いで高座に上がりました。人前で話すのが苦手な人もいたと思いますが、自分らしい落語ができていて、私は終始感動しておりました。噺を覚えるだけでも大変だったと思いますが、高座にあがる際の所作、上下(かみしも)を切ることで、登場人物の仕草・表情もよく考えられていて、皆さんの努力が伝わりました。本当に素晴らしかったです。

(岡田安弘)



香港の「LUCY YE LAM」さんは「死神」を迫真のパフォーマンスで演じました。

相撲観戦

2月9日両国国技館で行われた日本大相撲トーナメント(フジテレビジョン主催)を13名の学生が観戦しました。目の前で繰り広げられる力強い相撲に驚いていました。試合終了後にちゃんこ鍋を堪能した学生たちもいて、1日中相撲を楽しんだようです。

初めてのスノボ

王嘉瑩(香港)

スノボの旅行(1月25日～29日)はとても楽しかったです。なんといっても初めての雪、初めてのスノボ。その中でいっぱい思い出が残り、新しいことにチャレンジすることもできて、とても素敵な旅でした。最初二日間、スノボの初心者教室を受けましたが、全然滑れなくて、諦めたくなりました。でも、友たちが一緒に滑って教えてくれて、だんだん滑れるようになりました。三日間の食事食べ放題の形で、和食と洋食もあっておいしくて、留学生の私にとってとても贅沢でした！日本人の参加者とも文化についていっぱい話しました。ふわふわの雪も存分に楽しみ、一面の銀世界もたっぷり堪能でき、大満足の旅行になりました。